

「地域計画の実質化に向けた経過について」（男山）

京都府 与謝野町農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	: 14	参加
○ 農地利用最適化推進委員	: 11	参加
○ 事務局職員	: 3	参加
○ 関係団体（名称のみ）	男山農事実行組合	
○ 市町村行政との連携状況：	有り	



2 地区の特徴、状況、課題

- 与謝野町の西側は大江山があり、町の中心部を野田川に沿って肥沃な平野が広がっている。
- 与謝野町の中央を京都丹後鉄道が走り、西側の大江山は鬼伝説が残っている場所として知られてい
- 農地は、国道176号の両側に水田が広がり、畑地は山間部に点在している。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

地域計画の策定のため、男山地区の現状の把握に努めました。その結果、このままでは耕作者の高齢化、減少に伴って、農地が荒れていく事の危機感は共有できたと思われます。さらにその対応についても話し合いを継続し、課題が見えてきたとともにその解決手段についても議論できました。

議論においては、地元耕作者はもちろんのこと、農業委員会委員や事務局をはじめ、農業会議の当町を担当する現地推進役にも参画いただき幅広い意見集約に努めた。

4 成果（地域計画の実行に向けた取組内容）

地域計画の策定に際し、議論の中で、現在の耕作者の高齢化、担い手不足、機械の共同利用、ほ場整備の必要性等が課題が見えてきました。引き続き今後各課題について、農事組合が中心となって課題解決に向けて取り組む体制ができました。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください